

(始良郡始良町大字脇元字中原)

位置と環境

本遺跡は、思川河口から約0.8kmの沖積低地に位置し、標高は6～9mである。

町の南端から南西部にかけては、約580m～300m前後の安山岩質の赤崩山塊が広大な吉野台地を形成し、この台地の北側は急崖となって思川の低位台地と接している。赤崩山を主峰とする山稜のほぼ稜線に沿って鹿児島市・吉田町との境界が走っている。ここには、近世の主要道であり、歴史国道として整備されている白銀坂が存在している。

調査の経緯

調査は、一般国道10号始良バイパス建設に伴い、建設省鹿児島国道工事事務所の依頼を受けた県教育委員会により、昭和58年(1983)5月に分布調査を実施し、遺物散布地を確認した。その後、関係機関との協議により、平成5年(1993)11月確認調査を実施した。その結果、本遺跡では、縄文時代後期と古代～中世の遺物包含層が確認された。

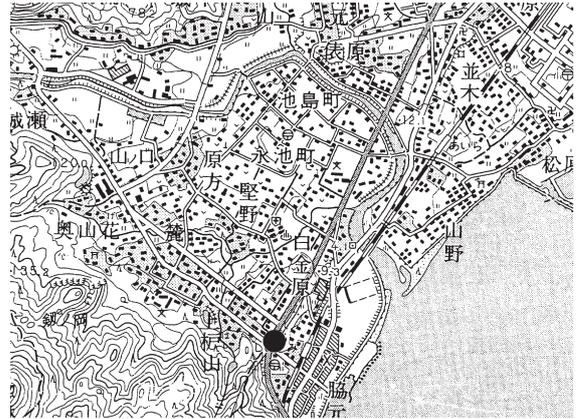
確認調査の結果に基づき、平成6年4月25日から本調査を開始したが、国道10号に架かる重富橋が災害の影響を受け、一次通行止めの措置がとられた。県教育委員会は、建設省鹿児島国道事務所(現国土交通省九州地方整備局鹿児島国道事務所)と再度協議を行い、一時的に本遺跡内に仮設道路が建設されることとなった。そこで本遺跡の調査は、平成6年6月30日に中断することとなり、平成7年4月24日から再開し、平成8年3月28日まで本調査を行った。

遺構と遺物

本遺跡は、大きく低地部と沖積台地部に分けられる。低地部では、市来式土器を中心に縄文時代後期の遺物が多数出土したが、土師器・須恵器・陶器類も含まれ、時期の特定ができない状態であった。

河川状の地形を呈した部分では、多量の礫を検出したが、大型の石皿や磨石・石斧などの石器も多く、石皿の集中している箇所も確認できた。また、礫を取り除いた砂層上面から礫を積み上げた井戸状遺構1基を検出している。

沖積台地部では、縄文時代中期、縄文時代後期、



第1図 中原遺跡の位置

弥生時代～古墳時代、古代～近世の遺構や遺物が発見された。

縄文時代中期の遺物としては、分厚い黄橙色水成砂質土の下層である灰褐色砂質土から多量の春日式土器が出土した。土器は小片が多く、完形に復元できるものはなかった。石鏃・磨石・石皿等の石器も出土しているが、春日式土器に伴う石器であることがうかがえる。

縄文時代後期の遺物は、黄橙色水成砂質土から指宿式土器が出土した。また、その上位である黒褐色砂質土からは松山式土器・市来式土器・草野式土器・丸尾式土器の在地系の土器とともに小池原上層式土器・鐘崎式土器・北久根山式土器等の磨消縄文系の土器が出土している。石鏃・石皿・磨石・石斧・石錘等の石器も多数出土し、多様な形の軽石製品も発見された。

弥生～古墳時代の遺構には、溝状遺構・杭を伴う溝状遺構・焼土のある古道が発見された。遺物としては、弥生土器・須恵器・土師器があるが、出土量は僅かである。

古代～近世の遺構には、柱穴群・土坑・古道・溝・畑跡・大形道路・井戸状遺構などが発見された。遺物としては、土師器・須恵器・陶器・動物形土製品・紡錘車・古銭・土錘等の遺物が出土した。

特徴

本遺跡で特筆すべき遺構には、大形道跡がある。東側は災害により崩壊した状態で検出され、西側は平松城(現重富小学校)方向に延びている。近世の主要道と考えられ、白銀坂との関連も感じられる幅約6mの道跡である。

注目される遺物は、多量に出土した土錘・石錘がある。管状土錘137個、双孔棒状土錘26個で、最大64.9g、最小2.35gと大きさや形にバラエティがある。石錘は打ち欠いただけの簡易な形状で、打ち欠き方により数種類に分類できた。類例の少ない石錘の集積も一基検出された。

また、メンコと呼ばれる土器加工品も281個と多量に発見された。このうち38個は陶器製である。軽石製品は、総数72個発見された。穿孔や面取りの施された製品のほか、舟形のものもあり、更に長径51cmの楕円形や長辺32cm三角柱状の大型製品も発見された。

このように、海岸近くに立地していることから海との関連遺物が豊富である。

以上のことから、本遺跡は市来式土器を主体とし

た縄文時代後期を中心とし、縄文時代中期～近世に至る多様な遺物・遺構を含む複合遺跡であるといえる。

資料の所在

出土遺物は、鹿児島県立埋蔵文化財センターに保管されている。

参考文献

鹿児島県立埋蔵文化財センター2003「中原遺跡」『鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書』54

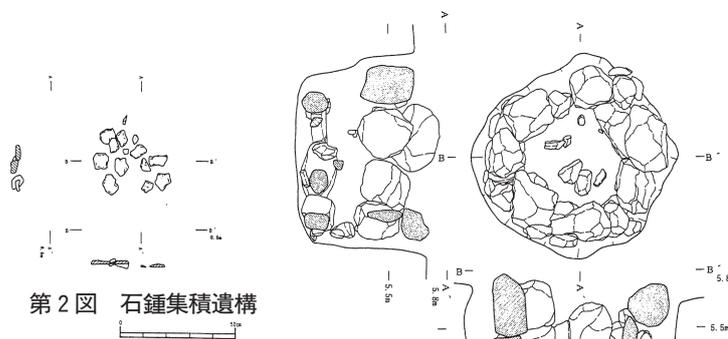
(森田郁朗)



写真1 大形道路跡



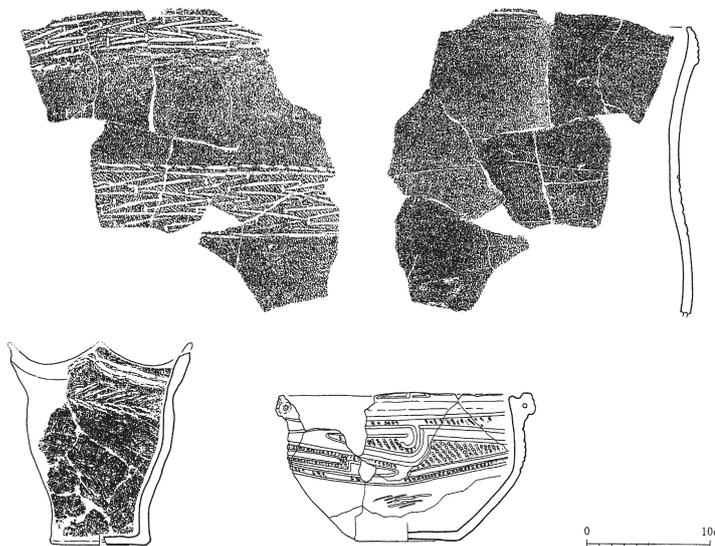
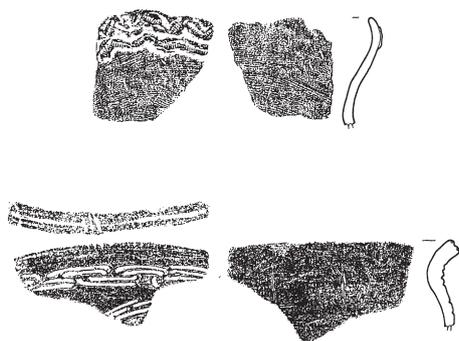
写真2 井戸状遺構



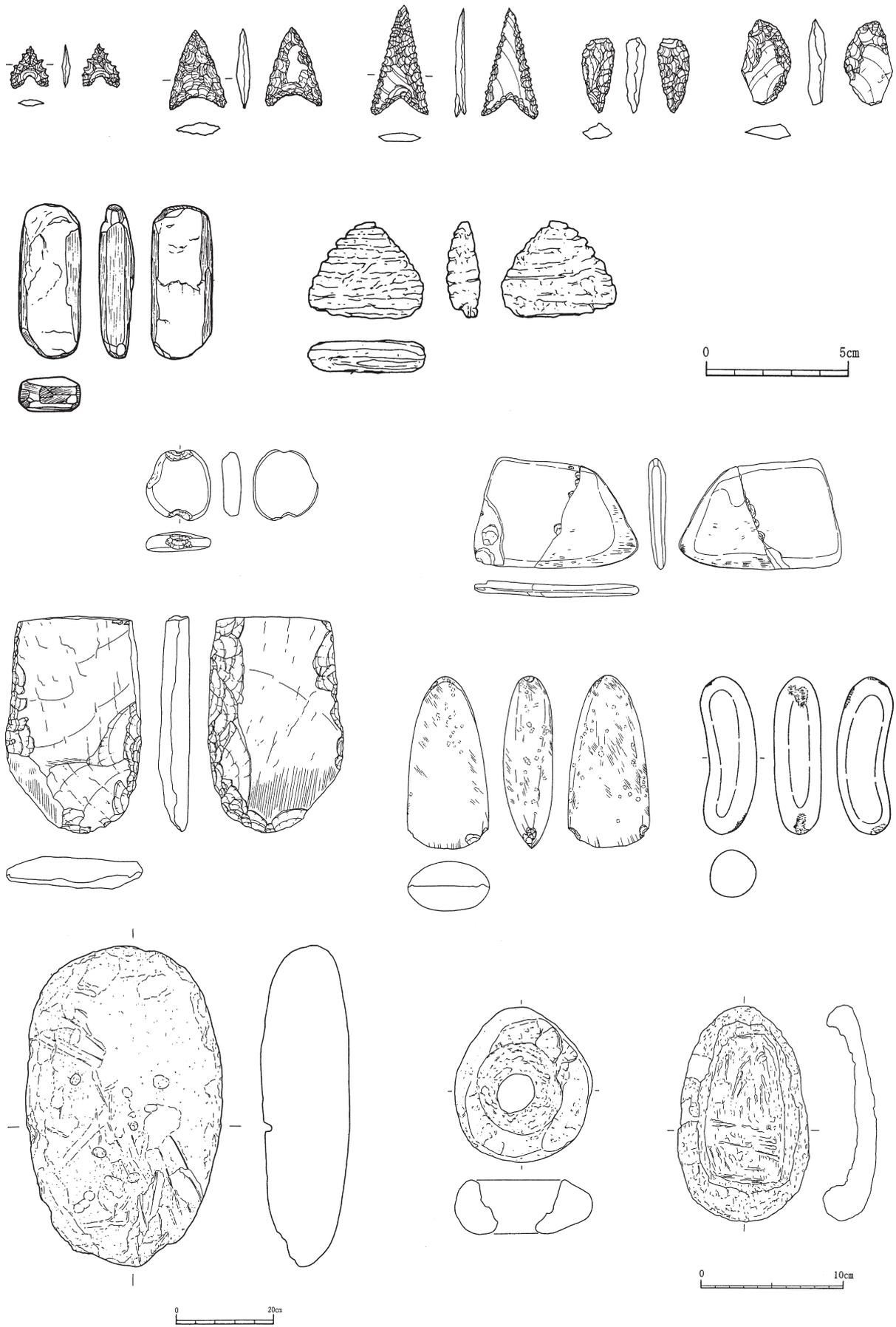
第2図 石錘集積遺構



第3図 井戸状遺構



第4図 出土遺物(1)



第5図 出土遺物(2)